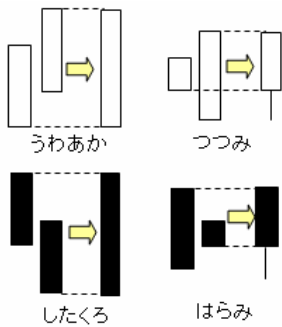


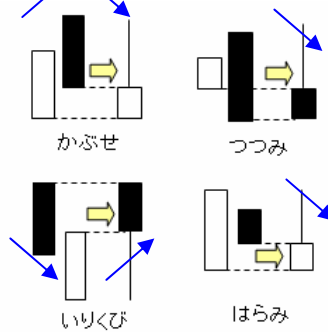


ローソク足の組合せ(2) - 株価位置を考える -

主な同勢力の組合せ



主な異勢力の組合せ



・つつみ足

前日の陽線とは逆にその値幅を完全に包み込む大陰線、あるいはその逆の陰線を包み込む大陽線のことをいいます。高値圏での大陰線のつつみ足は下落を示唆します。

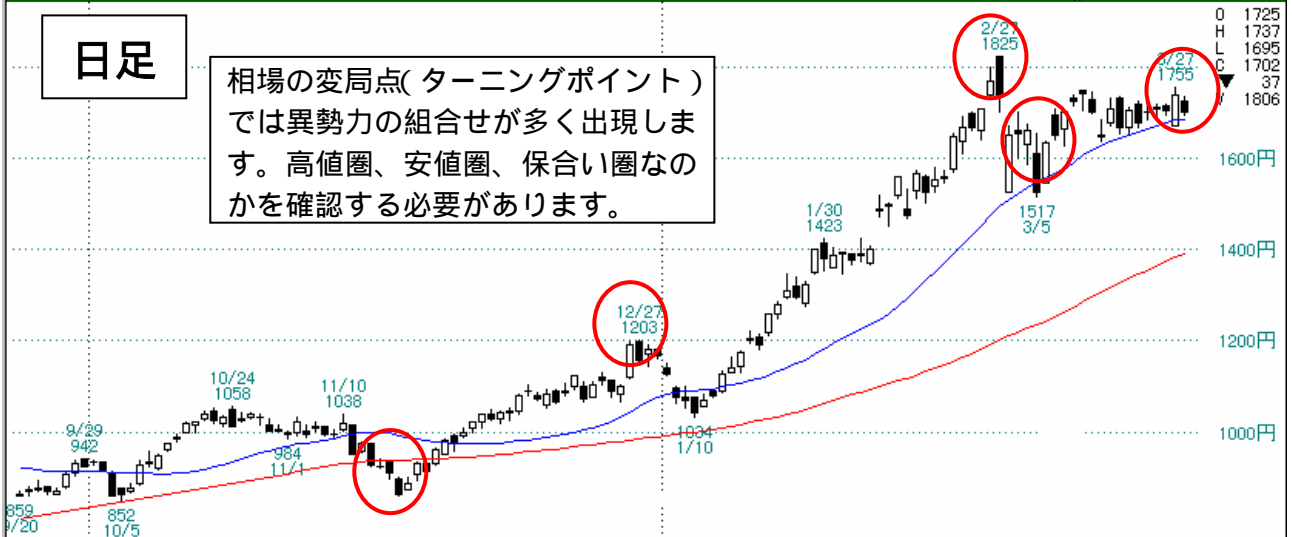
・はらみ足

前日の値幅以内で動き、それまでの売り方、買い方が小幅な動きの中でせめぎあっている形です。前日の足型にはらんだ形で相場にも新しい流れが近いと見るものです。

(5541) 東1【大平金】鉄鋼 ~ (07/03/28) | (C) GOLDEN CHART

日足

相場の変局点(ターニングポイント)では異勢力の組合せが多く出現します。高値圏、安値圏、保合い圏なのかを確認する必要があります。



「リアル株価ボード」より

前号のローソク足の組合せ(1)で時間的経過を考えるで紹介しましたが、今回は株価位置を考えるです。2本の組み合わせで強弱を測り知ろうとするわけですが、この場合同勢力(陽線+陽線、陰線+陰線)なのか異勢力(陽線+陰線、陰線+陽線)なのかを考えます。ローソク足の2本目の寄り(取引開始)の値段は前日の流れまたは終値に対する肯定と否定が織り成され決定します。否定から始まったものの引け(取引終了)に向かい前日の肯定となれば結果は同勢力となります。前日の肯定から始まったもの引けにかけて否定となれば異勢力が向かいあったこととなります。つまり上昇(下落)トレンド途中では同勢力の組合せが多く存在し、高値圏や安値圏または中段保合いの局面では異勢力の組合せが多く存在することとなります。同勢力の組合せの判断は容易ですが、異勢力の組合せは変局点(ターニングポイント)になる可能性が高いということです。勝つか負けるかのせめぎ合いが行なわれています。相場の波動を捉え、安いところを買いたい、高いところを売りたいというふう考えるのが投資家として願いたいと思います。その際は同勢力が作った足型なのか、異勢力が作った足型なのかを考えることで現在の株価位置や今後の動向を推測することも可能と思われます。色々なパターンがあり、必ずしもそうなるとは限らず、例外のないルールはありませんが、予測の精度を高めるという主旨でローソク足を見る視点を替えて確認することをお奨めいたします。

## 金融商品取引法に基づく重要な注意事項

〔当社の概要〕 商号等：丸三証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第167号  
加入協会：日本証券業協会

〔手数料等の概要〕

### 上場有価証券等に関する手数料等の概要

- ・「一日コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.084% (30万円以下の場合 252円) の委託手数料をいただきます。
- ・「銘柄コース」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (20万円以下の場合 210円) の委託手数料をいただきます。
- ・「夜間取引」による株式の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100万円以下の場合 1050円) の委託手数料をいただきます。
- ・上場有価証券等のうち転換社債型新株予約権付社債(CB)の売買取引には、売買代金に対し最大税込 0.105% (100万円以下の場合 1050円) の委託手数料をいただきます。
- ・株式を募集・売出し等により取得する場合は、購入対価のみのお支払となります。
- ・信用取引により株式等を売買する場合は、上記委託手数料とは別に、委託保証金として売買代金の40%以上かつ30万円以上の預託が必要となります。その他に管理費及び権利処理費等をいただきます。また新規買付の場合、買付代金に対する金利を、新規売付の場合、売付株券等に対する貸株料及び品貸料をいただきます。

### 投資信託に関する手数料等の概要

- ・投資信託の購入等にあたりお客様にご負担いただく費用として、申込手数料(申込時に直接ご負担いただく費用)、信託財産留保金(換金時に直接ご負担いただく費用)、信託報酬(保有期間中に間接的にご負担いただく費用)などがあります。
- ・これらの費用は商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご確認ください。

〔リスクについて〕

### 上場有価証券等に関するリスク

- ・株価の変動等により損失が生じる恐れがあります。外国株式は、為替相場の変動等により損失が生じる恐れがあります。
- ・転換社債型新株予約権付社債(CB)は価格の変動等により損失が生じる恐れがあります。また権利行使できる期間や条件に制限があります。
- ・信用取引では委託保証金の額に対して最大 2.5 倍の投資が可能です。したがって信用取引においては損失の額が預託した委託保証金の額を上回る可能性があり、投資元本以上の損失が生じる恐れがあります。

### 投資信託に関するリスク

- ・主な投資対象が国内株式である投資信託の基準価額は、組み入れた株式の値動きにより上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が円建て公社債である投資信託の基準価額は、金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより上下しますので、これにより元本を割り込む恐れがあります。
- ・主な投資対象が株式・一般債にわたっており、且つ、円建・外貨建の両方にわたっている投資信託の基準価額は、組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込む恐れがあります。
- ・これらのリスクは商品毎に異なりますので、詳細は各商品の目論見書又は当社ホームページの各商品ページをご覧ください。

〔契約締結前交付書面等について〕

各商品等のご購入のお申込にあたりましては、当社より所定の契約締結前交付書面(投資信託においては目論見書及び目論見書補完書面)を交付いたします。書面をよくお読みいただき内容を十分にご理解いただいたうえでお申込いただきますようお願いいたします。